

令和8年度  
調布市武者小路実篤記念館事業計画  
(案)

指定管理者  
一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

## 1 方針

武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、武者小路実篤（以下「実篤」という。）の業績を顕彰し、広く市民の教養・文化向上に寄与するため、次の事業目標のもと、調布市教育プラン及び調布市社会教育計画に沿って事業を展開します。

### （１）武者小路実篤の顕彰

年８回の展示事業、普及活動、実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

### （２）実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺派・新しき村の研究施設」を目指します。

### （３）次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大（博学連携事業）

学校教育や学童クラブなどにおいて活用しやすいメニューや教材を開発することで、子どもたちへ積極的に働きかけ、豊かな文化的経験の場を提供し、未来の来館者を育成する取組を実施します。

### （４）実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

### （５）館の外へとつながる事業

実篤記念館から外に出て、武者小路実篤の活動や魅力を伝えて参ります。地域や大学、近隣市の関係施設との協力事業、展覧会や講座等の開催協力など積極的に取り組みます。

また、SNSを始めとした情報発信により、認知度を高め、多くの人とつながる事業を展開します。

## ○ 展示活動

令和８（２０２６）年４月９日に、武者小路実篤没後５０年の節目を迎え、年間を通して様々な記念事業を展開します。春の特別展では、気鋭の評論家・若松英輔氏による現代における実篤評価を紹介する実篤没後５０年「よみがえる武者小路実篤・美愛眞の世界―若松英輔コレクションを中心に―」を開催します。展覧会では実篤が多くの人を魅きつけ結び付ける存在であり、文学史ではなく精神史の中で捉えるべきという若松氏の考察を、氏が所蔵する実篤と周辺の人々の作品・資料を中心に構成し、解説します。

秋の特別展では、実篤と親交のあった画家・河野通勢について、続く２回の企画展と併せて特集します。実篤記念館は、８，０００点余に及ぶ国内最多の河野作品・資料を所蔵し、これらは他館への貸出率も高い人気の作品群となっています。河野は平成２０年に国内を巡回した「大正の鬼才 河野通勢」展で再評価され、その後実篤記念館に収蔵された作品も多いことから、改めて紹介するとともに、この機会に主要作品を掲載した図録を拡大版として制作します。

そのほか、実篤の幅広い活動を紹介するために、所蔵品を中心とした企画展を６回開催します。これらの展示活動を通して、実篤の活動や魅力、実篤記念館の収集活動の成果を広く周知し、認知度を高めます。

このほかに、隔年で開催している調布市文化会館たづくり展示室での移動展では、実篤記念館で開催する春の特別展との連動企画として実篤没後50年「若松英輔コレクションに見る武者小路実篤・美とことばの宇宙」を開催します。

○ 普及活動

講座・講演会、ボランティア活動などを充実させ、満足度の高い良質な事業を展開して参ります。

令和8年度は実篤没後50年の節目にあたることから、春の特別展・たづくり移動展開連企画として、評論家・若松英輔氏を招き、実篤を現代の視点から改めて評価する講演会を開催します。

また、郷土博物館や公民館をはじめ市内施設との事業協力を深めながら広く情報発信し、実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とします。

小・中学校をはじめとする学校教育との連携については、学校で地域ゆかりの文化遺産である実篤と実篤記念館に親しむ機会となる企画や博学連携事業を推進します。さらに、調布市の不登校児童・生徒への支援事業や学童クラブをはじめ近隣地域の小・中学生を対象とした学校外における支援・育成事業との連携も深め、豊かな文化的経験の場を子どもたちに提供します。

広報活動では、多様な媒体を使い、対象者に応じた広報（発信）により、実篤、実篤記念館の認知度を高め、来館や情報利用の促進を図ります。

○ 資料収集及び保存、並びに調査・研究

書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真及び映像・音声資料などの関連資料を収集するとともに、良好な状態で保存します。特に貴重な収蔵品については、適切な保存・管理を図るために、資料状態の把握に努めるとともに修復、複製制作を実施します。さらに、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に係る事項についての情報収集発信基地としての役割を担っていくため、調査・研究を行います。

○ 情報提供システム

情報提供システムでは、収蔵品データベース、情報閲覧システム、ホームページ等を活用し、広く実篤や収蔵品情報を提供します。

収蔵品データベースのリニューアルは3年目に入り、公開用システムを設計します。また、技術の進歩と情報利用環境及びニーズの変化を踏まえ、ホームページのリニューアルにも着手します。

2 事業概要

No.	事業名	事業内容
1	展示活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展：武者小路実篤没後50年に当たり、実篤没後50年春の特別展「よみがえる武者小路実篤・美愛眞の世界—若松英輔コレクションを中心に—」及び秋の特別展「画家・河野通勢 生涯と代表作」を開催する。</li> <li>・夏休み企画「おしえて！武者小路実篤」をはじめとして、秋の特別展も含め3回にわたり所蔵する河野通勢作品等を紹介するなど、実篤記念館収蔵品による企画展を6回開催する。</li> <li>・隔年で実施している調布市文化会館たづくり展示室での移動展は、実篤記念館で開催する春の特別展との連動企画として実篤没後50年「若松英輔</li> </ul>

		コレクションに見る武者小路実篤・美とことばの宇宙」を開催する。
2	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武者小路実篤没後50年に当たり、著名な外部講師（若松英輔氏を予定）を招き、実篤を現代の視点から再評価する講演会を開催する。</li> <li>・講座等については、さらに内容の充実を図り、特色ある生涯学習の機会と良質な事業を提供する。</li> <li>・ボランティアによる、ガイド、開催事業補助、文化財 IPM（総合的有害生物防除）の考え方に基づく実篤記念館内外及び旧実篤邸の清掃、データ入力などを実施する。</li> <li>・学校や学童クラブとの連携を図り、博学連携プログラム作りや、出張展示や出張授業等を推進する。教員研修に積極的に協力し、また、子ども向け解説シート等授業で活用できる教材を作成し提案する。</li> <li>・ICT 教育で活用できる情報・教材の整備・作成を推進する。</li> <li>・親子参加型事業、夏休み子ども向け事業等キッズプログラムを充実させる。</li> <li>・郷土博物館や市内施設及び関連美術館・文学館等との事業連携を深め、実篤と実篤記念館の認知度を高める。</li> <li>・特別展パンフレットを刊行する。 令和8年度は実篤没後50年記念と、実篤記念館所蔵の河野通勢作品等を紹介する拡大版図録を作成する。</li> <li>・広報資料の作成や配布、ホームページ等の運用で広く実篤や実篤記念館事業を広報し、実篤の魅力や事業活動を周知し、認知度を高める。</li> <li>・友の会事業及びぐるっとパス事業を実施し、広報・普及に努める。</li> <li>・毎年計画的に制作している映像作品は、平成6年の資料館増築当初に制作した「武者小路実篤の生涯」の内容をリニューアルするとともに、日本語・英語の字幕にも対応した映像を制作する（2か年計画の1年目）。</li> </ul>
3	閲覧事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵図書・資料の閲覧事業を通して、実篤作品に親しむ機会を増やし、利用者の調査・研究活動をサポートする。</li> <li>・情報提供システムを活用し、レファレンス業務を充実させて、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担う。</li> </ul>
4	資料収集・保存 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品・資料の収集に努めるとともに、収集後は整理を行い、収蔵品を良好な状態で保存する。</li> <li>・収蔵品の修復や複製による保存事業を計画的に実施する。</li> <li>・作品・資料の保存環境の把握及び整備に努める。</li> <li>・収蔵品データベースの情報をさらに充実させる。</li> <li>・関係機関との連携、展示・調査研究に係る資料提供の要請等について対応する。</li> <li>・収蔵品の点検、未整理資料の整理作業に積極的に取り組む。</li> <li>・特別展に関連する資料をはじめ、個人所蔵の資料など、実篤、白樺派、新しき村に係る資料の調査・研究を実施する。</li> <li>・旧実篤邸内所蔵品の虫害対策のために消毒作業を実施する。</li> </ul>

5	情報提供システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵品データベース，情報閲覧システム，映像視聴システムの更なる情報の充実を図り，リニューアル完了まで安定的な運用に努める。</li> <li>・収蔵品データベースのリニューアルは3年目に入り，公開用システムを設計する。また，技術の進歩と情報利用環境及びニーズの変化を踏まえ，ホームページのリニューアルにも着手する。</li> <li>・ホームページ，SNS の運用を積極的に展開し，情報の発信と認知度向上に努める。</li> <li>・ICT 教育で活用できるよう，学習サポートページの充実を推進する。</li> </ul>
6	記念館の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入場者の安全で快適な利用に供するため，保守点検による設備等の維持及び良好な運用と美観を保持することに努める。</li> <li>・駅等からの誘導案内サイン等を，利用者に分かりやすく改修する。</li> <li>・収蔵品の状態と保存環境の維持に努めるとともに，後世に貴重な財産を残すために，隔年で行っている環境調査を実施する。</li> <li>・作品・資料の保存環境を確保するため，展示室，地下収蔵庫の温湿度をモニターし，空調の調整に努める。</li> <li>・雨漏・漏水や災害に備えた施設管理を実施する。</li> <li>・市の給排水衛生設備工事・空調設備工事及び電気設備工事等の設計に基づき，令和9年度を想定している各種工事に備える。その他，経年劣化している設備やセキュリティ上の問題点等，対応すべき箇所の効率的な改修を目指す。</li> </ul>
7	公園日常管理・旧実篤邸保存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用者にとって快適な施設とするため，日常的な維持管理を行う。</li> <li>・登録有形文化財に登録された旧実篤邸を維持管理し，土・日・祝日は公開する。</li> <li>・令和7年度に実施した旧実篤邸雨水・排水対策を踏まえ，令和8年度は浸水による腐食箇所の修繕を実施するとともに，今後の保存方針について環境部及び教育部とより緊密に検討する。</li> </ul>
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や市民活動支援センター，地区協議会等と協力して地域連携事業を実施する。</li> <li>・市内中学生の職場体験の受入れを行う。</li> <li>・博物館学芸員実習の受入れを行う。</li> <li>・武者小路実篤没後50年に際し，自主事業として自伝小説「或る男」を出版（復刊）する。</li> </ul>

### 3 展示日程

No.	タイトル	会 期
1	実篤没後 50 年 春の特別展「よみがえる武者 小路実篤・美愛眞の世界—若松英輔コレクシ ョンを中心に—」	令和 8 年 4 月 25 日 (土) ~6 月 7 日 (日)
2	企画展「武者小路安子没後 50 年—妻・母・祖 母として—」	6 月 13 日 (土) ~7 月 20 日 (月・祝)
3	夏休み企画「おしえて！武者小路実篤」	7 月 25 日 (土) ~8 月 30 日 (日)
4	実篤没後 50 年 秋季展「生きるなり—実篤 の言葉—」	9 月 5 日 (土) ~10 月 12 日 (月・祝)
5	秋の特別展「画家・河野通勢 生涯と代表作」	10 月 24 日 (土) ~12 月 6 日 (日)
6	企画展「画家・河野通勢 物語を描写す る」	12 月 12 日 (土) ~令和 9 年 1 月 24 日 (日)
7	企画展「画家・河野通勢 風景を描く」	1 月 30 日 (土) ~3 月 7 日 (日)
8	春季展「新収蔵品展」	3 月 13 日 (土) ~4 月 18 日 (日)
9	移動展 実篤没後 50 年「若松英輔コレクシ ョンに見る武者小路実篤・美とことばの宇 宙」(会場：調布市文化会館たづくり)	令和 8 年 5 月 28 日 (木) ~7 月 5 日 (日)